

第15回ねごろ医用実学研究会講演会
臨床工学技士の職域の拡大を考えるXI
『臨床工学技士の将来像』

日時：令和7年3月8日（土）開始13:00
場所：近畿大学生物理工学部 アリーナ（和歌山キャンパス）
方式：オンサイト（現地）開催

アクセス <https://www.kindai.ac.jp/bost/access/>

※聴講無料



【講演Ⅰ】

森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科 助教 川村 勇樹

『臨床工学技士免許を保有する大学教員としての働き甲斐と存在価値』

【講演Ⅱ】

ニプロ(株) 医療器械開発・技術営業部 一課 主任 永井 翔

『企業における臨床工学技士の役割と将来像』

【講演Ⅲ】

近畿大学病院 臨床工学部 技術科長代理 藤堂 敦

『臨床工学技士の進化する役割と将来像』

【講演Ⅳ】

(独)医薬品医療機器総合機構 医療機器安全対策・基準部
医療機器安全対策課 (併)医療安全情報管理課 主任専門員
植木 光樹

『行政による医療機器の市販後安全対策における臨床工学技士の重要性』

※聴講を希望される当学部以外の方は、お申し込みが必要です。

【対象者】 医療者・研究者・教職員・学生・高校生（保護者）※一般不可

【申込み方法】 下記アドレスまたは二次元バーコードにアクセスし、
必要事項を入力して下さい。

申し込み締切 令和7年3月1日（土）

申し込みアドレス：<https://forms.gle/79pHhqVWTCVA2qCA8>



事務局：黒田（E-mail: negoro@waka.kindai.ac.jp）

代表幹事：古蘭 勉

講演の要旨

『臨床工学技士免許を保有する大学教員としての働き甲斐と存在価値』

森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科 助教

かわむら ゆうき

川村 勇樹

医療基盤技術の発展や臨床工学技士の後進育成には、臨床に精通するとともに研究能力を有する人物が教育研究機関に従事する必要があります。新規医療技術の開発に寄与することを目指し、また次世代臨床工学技士の養成に携わっている経験に基づいて、本講演では大学に勤務する臨床工学技士の現状と将来についてお話しします。

『企業における臨床工学技士の役割と将来像』

ニプロ(株) 医療器械開発・技術営業部 一課 主任

ながい しょう

永井 翔

企業における臨床工学技士は、医療機器の開発・改良において重要な役割を果たします。医学と工学両方の知識を用いて技術革新を推進し、マーケットニーズを反映させることで、患者の安全性向上に寄与します。今回は企業就職を目指した理由や現在の業務内容について共有したく考えております。

『臨床工学技士の進化する役割と将来像』

近畿大学病院 臨床工学部 技術科長代理

とうどう あつ

藤堂 敦

高度医療機器やAI導入が進む中、臨床工学技士は機器運用やトラブル対応を担い、その重要性がますます高まっています。2021年の法改正による業務範囲の拡大や需要の増加を背景に、臨床業務と研究を両立することで、スキル向上や医療機器開発、病院経営など多方面での活躍が期待されます。

『行政による医療機器の市販後安全対策における臨床工学技士の重要性』

(独)医薬品医療機器総合機構 医療機器安全対策・基準部

うえき みつき

医療機器安全対策課 (併)医療安全情報管理課 主任専門員

植木 光樹

医療機器の使用に伴い発生した患者の健康被害や医療機器の不具合の情報は、医療機器メーカーから薬機法に基づきPMDAに報告されます。その内容を臨床工学技士(医学・工学)の観点から安全対策の充足性や追加の安全対策の必要性を検討する上で重要な役割を担っており、更に新しい医療機器にも対応できることが求められています。